

ワークショップ

「カプセル内視鏡(CE)が明らかにした原因不明消化管出血(OGIB)の原因疾患」

司会 勝木 伸一 (小樽掖済会病院消化器病センター)

藤森 俊二 (日本医科大学千葉北総病院消化器内科)

OGIBの原因は腫瘍性・血管性・潰瘍性病変に大きく分けられるが、その原因は薬剤性・炎症性・感染性疾患・膠原病・代謝性・遺伝性疾患などを多岐にわたり、様々な状況でカプセル内視鏡が有用である。また、出血源が小腸以外であることも少なくない。ここではOGIBにおける最近のCEの有用性や、明らかになった疾患の画像・原因・病態・頻度・治療等について取り上げ、貴重な症例に関しては症例報告も歓迎する。さまざまな視点からOGIBの出血源となる疾患について議論したい。